

令和3年度事業報告書

特定非営利活動法人DOG DUCA

1 事業の実施の概略

特定非営利活動法人DOG DUCAは、愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、次の事業を実施した。具体的には、本法人の定款第5条第1項第1②の事業として、犬の保護と里親探し事業及び第1号③の事業として、犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業を実施した。

2 事業の成果

今年度は、1月1日のゴールデンレトリバー引き取りから始まりました。その犬は、雨の日も暑い夏の日も外での生活を強いられ衰弱していたところを、正月に引き取り依頼の相談がありました。もちろん、犬にとっては、正月であろうと関係ありません。特定非営利活動法人DOG DUCAでは、季節時期に関係なく出来る限り、人と犬との持続可能な生活を支えるために活動していきます。

毎年恒例の「生命の授業」については、コロナにより中止となったことが有りましたが、小中学校をはじめ、高校、大学及び企業などの各所で講演を行う機会がありました。「自分さえよければいい」「誰でもよかった」など身勝手な理由により子供、高齢者、犬等が犠牲になってしまう世の中、様々な理由により飼育拒否・虐待・殺処分されてしまうことに対し、犬の保護を通じて特定非営利活動法DOG DUCAだからこそ出来ることまた、伝えられることを目標に、今期も活動に力を入れてきました。

犬の飼育拒否を含めた相談が80件ありました。そのうち44頭については、個々に抱える問題解決を助けるとともに、飼い主の意識改善を行い、飼育拒否になることなく現在も生活を共にすることが出来ています。残りの36頭については、特定非営利活動法DOG DUCAにて保護をしました。特定非営利活動法DOG DUCAでは、保護団体も受け入れにくい高齢、病気、かみつきの等問題行動のある犬の保護を優先しています。そのため、新たな里親へいくことが出来ないケースが多く、病気の治療だけでなく、「心のケア」も行い、毎日を痛みや辛さのない「幸せを感じてもらえる」保護活動を行っています。ここ数年は30頭前後の犬を常時保護している状態です。

犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙活動については、教室への参加人数は、月10組ほどで、年間120組でした。参加されたご家族には、個別に問題ケースが異なるため、10頭10色の教え育てる「しつけ」により、問題行動について犬と人が一緒になって解決することが出来ました。

さらに今期は、「シニアドッグサポーター制度」の高齢者と犬の問題と、病気や障害を持つ犬の問題解決に力を入れて参りました。メディア関係各所もこの問題に注目して頂きNHKの「家族になろうよ」や、CBCの「チャント」など、テレビ番組・新聞記事で取り上げてもらう機会が多くありました。

2021年度も高齢者と高齢犬、障害や病気を持った犬、他の動物愛護団体が引き取りに二の足を踏む犬と人が抱える問題の解決と保護活動に努めたいと思っております。また、ケアマネジャーさんとの連携を深め、飼い主である高齢者と、高齢者の元で飼育されている犬が幸せな生活が送れるよう、「シニアドッグサポーター制度」を一層充実したシステムにしていきたいと考えています。殺処分から助けるだけの保護活動だけでなく、心身ともに幸せを実感できる「真の動物愛護」のため、これからも愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して、犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、翌年度以降も事業にまい進していきます。

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア 犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業

(ア) 事業内容

犬の適正なしつけ指導を通じて、地域社会でのマナーやモラル向上を深めるとともに、飼育拒否等の問題の現況、解決に向けた犬と人とのより良い共存生活講座を、もりやま犬とねこの病院において、一般市民を対象に無料で開催した。

(イ) 開催日時

もりやま犬とねこの病院開催・・・令和3年1月1日～令和3年12月31日の内、毎月約1回で年間12回

(ウ) 会場

もりやま犬とねこの病院

(エ) 講師及び従事者

講師高橋忍(本法人の理事)、会場設営・受付要員1名(DOG DUCA職員)

(オ) 受講者

120組の家族(犬の飼育拒否や犬の地域社会問題に関心を持ちそのモラル向上と普及及び啓蒙活動に関心のある一般市民)及び犬

(カ) 費用

209,290円

(内訳)

資料コピー代89,290円、講師及び会場設営・受付要員旅費(延べ48名)120,000円

(キ) 収益

0円

イ 養護施設等でのアニマルセラピー事業

(ア) 事業内容

犬の処分問題に対する地域社会の理解・知識を広めるため、また高齢者入居施設への訪問を行い、社会福祉を通じて犬の社会貢献を推進する事業。

(イ) 開催日時

本年度の活動なし

(ウ) 会場

(エ) 講師及び従事者

(オ)参加者

(カ)費用
0円

(キ)収益
0円

ウ 犬の保護と里親探し事業

(ア)事業内容

捨てられて殺処分される犬を保護して預かり、地域社会を通じてその現状を発信することにより新しい里親を探し、人と犬とのより良い共存生活が可能なる社会を再構築する手助け事業を、経常的に無料で行った。

(イ)開催日時

令和3年1月1日～令和3年12月31日まで常時

(保護犬が里親へもらわれていくまで)・・・相談数80件、里親への譲渡頭数約44頭、ほか保護中の頭数約36頭 合計80頭

(ウ)会場

DOG DUCA事務所及び高橋忍(本法人の理事)自宅、里親預り会員各自宅

(エ)講師及び従事者

高橋忍(本法人の理事)、DOG DUCA職員、里親預り会員のべ80名

(オ)対象犬

相談・保護された犬80頭(NPODOGDUCAにて引き取り:36頭)

(カ)費用
2,713,264円

(内訳)

資料コピー代178,582円、動物病院代(年間)1,853,709円、トック'フート'代(年間)242,133円、ボランティア謝礼費193,171円、通信費16,827円、その他228,842円

(キ)収益
0円

③ 会議の開催に関する事項

令和3年3月22日 社員総会